

# 数学

## 京都大学[文系] (前期)

### <全体分析>

試験時間 120分

解答問題数 5題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・**変化なし**・増加) 難易 (**易化**・変化なし・難化)

出題の特徴

見掛け上、証明問題は**4**の1題だけだが、**2**、**3**、**5**も結果に至る過程を論証することが要求されている。

その他トピックス

n進法が出題された。

昨年と同様に小問誘導がなかった。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
<b>1</b>	積分法	数学II	条件を満たす領域の面積を求める。	やや易
<b>2</b>	確率、対数	数学A 数学II	繰り返し行う試行の回数の最小値を、対数を用いて評価する。	標準
<b>3</b>	整数、数列	数学A 数学B	n進法で表された方程式を解く。	標準
<b>4</b>	空間図形	数学B	ベクトルを用いて正四面体であることを証明する。 (図形的に処理することも可能。)	標準
<b>5</b>	3次方程式	数学II	与えられた条件を満たす3次方程式を求める。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

標準的な問題を確実に解く力をつけ、論理的に表現する力をつけておきたい。基本的に小問により誘導されない問題が出題されるので、自分で解法の糸口が見つけられる学力をつけておかなければならない。